

精神医学症状

◎以下の症状の名称を下欄から選びなさい。

1. 軽度から中等度の意識混濁に精神運動興奮を伴うもので、特に夜間に多く、興奮したり、徘徊したり、幻覚を見たりする。多くは短期間のうちにおさまる可逆的な症状である。
2. せん妄の軽度のもので、強い思考障害と困惑を示す。思考散乱が症状である。
3. 意識混濁は軽度～中等度であるが、著しい意識狭窄を示す。室内を歩き回ったり衝動行為など精神運動興奮がみられる。
4. 意識は清明であるが、動いたり話したりすることが全くできない状態。
5. 憂鬱、悲哀、悲観的な気分で、不安を伴う。
6. 感情の動きが鈍くなり、外界に対しての反応が減少する状態。
7. 精神面、運動面とも促進した状態。
8. 精神面、運動面とも抑制した状態。
9. 思考のつながりが弱くなった状態。脈絡がなくなった状態。
10. 思考と思考のつながり（脈絡）が全くなり、バラバラになった状態。
11. 考えが急になくなった状態。（思考の進行が途絶えた状態）
12. 思考の進行が遅くなり、なかなか前に進まない状態で浮かんでくる観念も乏しくなる。
13. 思考の進行が異常に早く、次から次へといろいろな観念が浮かんでくる。思考の方向性が変動しやすくなる。
14. 思考の目標は失われていないが、非常に回りくどい状態。
15. アメンチアの症状で、思考がまとまらない状態。
16. 前頭葉症状の1つで、前の刺激が後の刺激に影響して続くもの。
17. 自分でも不合理とわかっている観念が常に浮いてきて、何度も同じ行為を繰り返すもの。
18. 見るものや聞くものがピンとこない。自分が存在している実感がない。
19. 誰かにさせられているという体験や思考。自我障害の1つ。
20. 作為思考の1つで、自分の考えが抜き取られると感じるもの。
21. 作為思考の1つで、自分の考えではないものを勝手に吹き込まれてしまうというもの。
22. 幻聴の1つで、自分の考えが声になって聞こえてくるというもの。
23. 自分の考えではない考えが、勝手にわき出てくるというもの。
24. 相反する感情を同時にいただくもの。愛と憎しみ、善と悪、やりたいとやりたくない、など。
25. 強い心的外傷の記憶が何度もよみがえること。
26. こころと体が分かれている状態で、健忘、昏迷、遁走、多重人格などがある。
27. 実際の病気ではないにもかかわらず、失立、失歩、失声、けいれん発作、感覚障害などを引き起こす。
28. オウム返し。聞いた言葉をそのまま繰り返すもの。直後に繰り返す場合と時間を置いて繰り返す場合がある。
29. 質問とは無関係に、同じ内容の言葉を常同的に言うもの。
30. 前頭葉症状の1つで、自分の意志通りに体を動かしたり、話したりすることが困難になる状態で、ほうきを見ると急に掃き出したり、手すりがあると立ち上がるなどの状態がある。
31. 1つの事にこだわること。同じものばかりで遊んだり、同じやり方でないと気が済まないなど。
32. 記銘力障害を取り繕おうとして、都合のいい話をする事。
33. 些細なことで、急に泣いたり、笑ったりしてコントロールできないこと。

34. 考えるのが面倒くさくなることで、何か尋ねても「めんどくさい」「どっちでもいい」「自分で考えて」などと返答する。
35. 毎日同じ時間に決まって同じ行動をすること。午後3時に、決まったコースを散歩するなど。
36. 強い感情に結びついた観念が、常に念頭から離れないことで、例えば最愛の息子を亡くした母親が息子のことばかりいつも考えてしまい、他のことが手につかない状態。
37. 行為（本を読む、何かを作る、TVを見るなど）が次々に移り変わる状態。
38. 他から見ると意味がないと思われる運動（歩き回る、壁をたたくなど）を続ける状態。
39. うつ病にみられ、不安や焦燥が強く、いらいらして落ち着かず、訴えも多くなる状態。
40. 自分の殻に閉じこもり、他人や周囲から遠ざかる状態。
41. 快感覚の消失のことで、通常楽しいと思えるようなことに対して、まったくそのような感情がわからない。
42. ある期間の記憶がなくなること。その時点より以前の記憶がなくなる逆向健忘と、それ以降の記憶がなくなる前向健忘がある。
43. 健忘失語（失名詞失語）の特徴で、単語（名詞）がなかなか出てこない状態。
44. 他動的に手を挙げたり、姿勢を変えるとそのままの姿勢を続けていること。

昏迷、抑うつ、感情鈍麻、転換症状、フラッシュバック、迂遠、考想化声、感情失禁、思考奪取、精神運動興奮、連合弛緩、思考途絶、アメンチア、観念奔逸、考え無精、作為体験（被影響体験）、脱抑制、思考吹入、離人症、自生思考、両価性、精神運動制止、保続、カタレプシー、解離症状、思考制止、もうろう状態、せん妄、反響言語、執着、作話、強迫、時刻表的行動、思考散乱、滅裂思考、自閉、行為心拍、滞続言語、運動心拍、激越症状、

◎症状が出現する疾患を書きなさい。

症 状	疾 患
せん妄	
アメンチア	
もうろう状態	
昏迷	
抑うつ	
感情鈍麻	
多動・多弁	
連合弛緩	
思考途絶	
思考制止	
観念奔逸	
注意の転導性の亢進	
迂遠	
自生思考	
両価性	
健忘	
保続	
解離症状	
転換性症状	
強迫	
思考吹入	
思考奪取	
考想化声	
反響言語	
フラッシュバック	
脱抑制	
滞続言語	
作為体験（被影響体験）	
考え無精	
時刻表的行動	
執着	
アンヘドニア	
自閉	
激越症状	
行為心拍	
運動心拍	
カタレプシー	

精神医学症状

◎以下の症状の名称を下欄から選びなさい。

1. 軽度から中等度の意識混濁に精神運動興奮を伴うもので、特に夜間に多く、興奮したり、徘徊したり、幻覚を見たりする。多くは短期間のうちにおさまる可逆的な症状である。: **せん妄**
2. せん妄の軽度のもので、強い思考障害と困惑を示す。思考散乱が症状である。: **アメンチア**
3. 意識混濁は軽度～中等度であるが、著しい意識狭窄を示す。室内を歩き回ったり衝動行為など精神運動興奮がみられる。: **もうろう状態**
4. 意識は清明であるが、動いたり話したりすることが全くできない状態。: **昏迷**
5. 憂鬱、悲哀、悲観的な気分で、不安を伴う。: **抑うつ**
6. 感情の動きが鈍くなり、外界に対しての反応が減少する状態。: **感情鈍麻**
7. 精神面、運動面とも促進した状態。: **精神運動興奮**
8. 精神面、運動面とも抑制した状態。: **精神運動制止**
9. 思考のつながりが弱くなった状態。脈絡がなくなった状態。: **連合弛緩**
10. 思考と思考のつながりが全くなり、バラバラになった状態。: **滅裂思考**
11. 考えが急になくなった状態。(思考の進行が途絶えた状態): **思考途絶**
12. 思考の進行が遅くなり、なかなか前に進まない状態で浮かんでくる観念も乏しくなる。: **思考制止**
13. 思考の進行が異常に早く、次から次へといろいろな観念が浮かんでくる。思考の方向性が変動しやすくなる。: **観念奔逸**
14. 思考の目標は失われていないが、非常に回りくどい状態。: **迂遠**
15. アメンチアの症状で、思考がまとまらない状態。: **思考散乱**
16. 前頭葉症状の1つで、前の刺激が後の刺激に影響して続くもの。: **保続**
17. 自分でも不合理とわかっている観念が常に浮いてきて、何度も同じ行為を繰り返すもの。: **強迫**
18. 見るものや聞くものがピンとこない。自分が存在している実感がない。: **離人症**
19. 誰かにさせられているという体験や思考。自我障害の1つ。: **作為体験 (被影響体験)**
20. 作為思考の1つで、自分の考えが抜き取られると感じるもの。: **思考奪取**
21. 作為思考の1つで、自分の考えではないものを勝手に吹き込まれてしまうというもの。: **思考吹入**
22. 幻聴の1つで、自分の考えが声になって聞こえてくるというもの。: **考想化声**
23. 自分の考えではない考えが、勝手にわき出てくるというもの。: **自生思考**
24. 相反する感情を同時にいだくもの。愛と憎しみ、善と悪、やりたいとやりたくない、など。: **両価性**
25. 強い心的外傷の記憶が何度もよみがえること。: **フラッシュバック**
26. こころと体が分かれている状態で、健忘、昏迷、遁走、多重人格などがある。: **解離症状**
27. 実際の病気ではないにもかかわらず、失立、失歩、失声、けいれん発作、感覚障害などを引き起こす。: **転換症状**
28. オウム返し。聞いた言葉をそのまま繰り返すもの。直後に繰り返す場合と時間を置いて繰り返す場合がある。: **反響言語**
29. 質問とは無関係に、同じ内容の言葉を常同的に言うもの。: **滞続言語**
30. 前頭葉症状の1つで、自分の意志通りに体を動かしたり、話したりすることが困難になる状態で、ほうきを見ると急に掃き出したり、手すりがあると立ち上がるなどの状態がある。: **脱抑制**
31. 1つの事にこだわること。同じものばかりで遊んだり、同じやり方でないと気が済まないなど。: **執着**
32. 記銘力障害を取り繕おうとして、都合のいい話をする。: **作話**
33. 些細なことで、急に泣いたり、笑ったりしてコントロールできないこと。: **感情失禁**

34. 考えるのが面倒くさくなることで、何か尋ねても「めんどくさい」「どっちでもいい」「自分で考えて」などと返答する。: **考え無精**
35. 毎日同じ時間に決まって同じ行動をすること。午後 3 時に、決まったコースを散歩するなど。: **時刻表的行動**
36. 強い感情に結びついた観念が、常に念頭から離れないことで、例えば最愛の息子を亡くした母親が息子のことばかりいつも考えてしまい、他のことが手につかない状態。: **支配観念**
37. 行為（本を読む、何かを作る、TV を見るなど）が次々に移り変わる状態。: **行為心拍**
38. 他から見ると意味がないと思われる運動（歩き回る、壁をたたくなど）を続ける状態。: **運動心拍**
39. うつ病にみられ、不安や焦燥が強く、いらいらして落ち着かず、訴えも多くなる状態。: **激越症状**
40. 自分の殻に閉じこもり、他人や周囲から遠ざかる状態。: **自閉**
41. 快感覚の消失のことで、通常楽しいと思えるようなことに対して、まったくそのような感情がわからない。: **アンヘドニア**
42. ある期間の記憶がなくなること。その時点より以前の記憶がなくなる逆向健忘と、それ以降の記憶がなくなる前向健忘がある。: **健忘**
43. 健忘失語（失名詞失語）の特徴で、単語（名詞）がなかなか出てこない状態。: **語健忘**
44. 他動的に手を挙げたり、姿勢を変えるとそのままの姿勢を続けていること。: **カタレプシー**

昏迷、抑うつ、感情鈍麻、転換症状、フラッシュバック、迂遠、考想化声、感情失禁、思考奪取、精神運動興奮、連合弛緩、思考途絶、アメンチア、観念奔逸、考え無精、作為体験（被影響体験）、脱抑制、思考吹入、離人症、自生思考、両価性、精神運動制止、保続、カタレプシー、解離症状、思考制止、もうろう状態、せん妄、反響言語、執着、作話、強迫、時刻表的行動、思考散乱、滅裂思考、自閉、行為心拍、滞続言語、運動心拍、激越症状、

◎症状が出現する疾患を書きなさい。

症 状	疾 患
せん妄	高齢者の急な入院、アルコール依存症、認知症
思考散乱	アメンチア
もうろう状態	急性アルコール中毒、てんかんの大発作
昏迷	統合失調症緊張病型、うつ病、解離性障害
抑うつ	うつ病、不安神経症など
感情鈍麻	統合失調症の慢性期
多動・多弁	躁病
連合弛緩	統合失調症
思考途絶	統合失調症
思考制止	うつ病
観念奔逸	躁病
注意の転導性の亢進	躁病
迂遠	てんかん
自生思考	統合失調症
両価性	統合失調症
健忘	てんかんの大発作、頭部外傷、コルサコフ症候群
保続	前頭葉障害
解離症状	解離性神経症
転換性症状	転換性神経症
強迫	強迫性神経症
思考吹入	統合失調症
思考奪取	統合失調症
考想化声	統合失調症
反響言語	アルツハイマー型認知症、自閉症
フラッシュバック	PTSD、物質依存症（アルコール依存症、覚せい剤依存症）
脱抑制	前頭葉障害
滞続言語	ピック病
作為体験（被影響体験）	統合失調症
考え無精	ピック病
時刻表的行動	ピック病
執着	広汎性発達障害、
アンヘドニア	PTSD
自閉	自閉症、統合失調症
激越症状	うつ病
行為心拍	躁病
運動心拍	統合失調症緊張病型
カタレプシー	統合失調症緊張病型